

組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	作成日	R5.4.1
組織名(部)	会計管理者	組織名 (準部・課・機関名)	会計課		評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市全体における会計事務の正確性の向上に努めます。	行財1-1-①	会計に関する各種研修の実施(4種)	4種研修の実施	一部未実施	コンプライアンスの推進	会計に関する各種職員研修の実施により、職員の資質能力の向上及び内部統制制度に基づいた事務ミス事例の共有。 ・庶務実務研修 ・新任係長研修 ・新任課長研修 ・財務会計等実務研修	△	「財務会計等実務研修」については、研修実施体制が整わず、資料を提供するのみでしたが、その他の研修3本については、予定通り実施しました。	研修の実施方法について、誰もが受講しやすく、また理解しやすい研修となるよう、引き続き検討します。また、研修を毎年度繰り返し実施することにより、適正な会計事務の継続につなげるよう取り組みます。
2	市全体における会計事務の正確性の向上に努めます。	行財1-1-①	財務規則に基づく会計検査の実施	実施	実施	コンプライアンスの推進	実地検査及び書面検査を実施し、結果や改善事項を全庁的に周知する。 また、過去の会計検査や内部統制制度において、不備のあった所属の再発防止等の改善措置が適正か確認する。	○	書面検査を実施したうち、特にミスの多い所属を重点的に実地検査しました。顔を合わせながらの確認作業は、普段、所属がどのような流れで事務を遂行しているか具体的に確認でき、効果があったと感じました。また、不適切な事務については、是正に向け、指導・助言を行うとともに、再発防止を促すため、全所属に検査結果を周知しました。	事務ミスがなくなるよう、より効果的な会計検査の手法を検討しながら引き続き実施します。
3	支払事務の迅速化及び効率化に努めます。	行財1-1-①	支払事務の迅速化と支払遅延の防止に向けた指導の徹底(回数)	前年度以下	R5 279件 R4 199件 R3 279件	コンプライアンスの推進	支払事務の迅速化と債権者等への支払遅延防止について、各種研修で重点的に注意喚起を行い、庁内掲示板など様々な機会を通じて指導の徹底を図る。	△	会計事務に関する広報誌を作成し、全職員に周知しました。その中で、支払遅延防止法について、注意喚起を行いました。能登半島地震の影響もあり、第2号の掲載は遅れましたが、前年度よりも支払い遅延が減少した所属もあり、一定の効果はあったと捉えています。	支払遅延の一因としては、ペテラン職員が異動したことや、療養に入る職員との引き継ぎがうまくいかなかったというケースが散見されるため、効果的な対策を検討するとともに、支払遅延の防止啓発に努めます。
4	支払事務の迅速化及び効率化に努めます。	行財1-2-①	事務改善案の検討及び実施	実施	一部未実施	事業のあり方、やり方の見直し	事務効率化検討チームで改善案を検討し、実施できるものから速やかに実施する。	○	業務の見直し・改善については、10月から新しくインボイス制度が開始されたことに伴い、必要な庁内の運用整備に努め、関係所属及びISEとの入念な打ち合わせを経て、財務会計システムの改修や、全職員への周知を行いました。また、支払いデータの伝送化についても、指定金融機関との協議を経て、次年度の準備を進めました。	長期的な課題については、今後も継続して実施します。